

泌尿器科専門研修プログラム

診療科の特色

・泌尿器科とは尿路系における良性、悪性疾患と、男性生殖器及びそれに関わる疾患を扱う診療科です。診断から治療まで、内科的および外科的な手段で診療を行います。即ち、自分で病気を発見し、内科的または外科的に治療し、経過観察も継続できる診療科です。1つの診療科でこのように患者さんと関わることが出来る科は、他にはなかなかありません。

- ・ **da Vinci手術**－現在、日本において保険で認められているda Vinci手術は『前立腺全摘除術』のみです。
- ・ **腫瘍に興味がある人**－尿路、生殖器には様々な腫瘍があります。治療も手術のほか、内分泌療法、放射線療法、抗癌化学療法、分子標的薬治療、免疫療法など多岐にわたります。手術方法も従来の開放手術のほか、小切開手術、鏡視下手術など新しい術式を取り入れています。
- ・ **女性泌尿器科に興味がある人**－腹圧性尿失禁、骨盤臓器脱に対する手術(TOT、TVM手術など)も積極的に行っています。
- ・ **内視鏡に興味がある人**－泌尿器科は腹腔鏡手術や経尿道的手術などEndourologyも盛んです。独立した学会もあります。
- ・ **Plastic surgeryに興味がある人**－先天性腎孟尿管移行部狭窄に対する腎孟形成術、腸管を使った尿路再建、難治性の尿道損傷に対する手術、尿道下裂に対する小児の尿道形成術など再建分野もたくさんあります。
- ・ **生理学、薬理学など基礎医学に興味がある人**－排尿生理は未知の分野がまだまだあります。研究テーマには事欠きません。この分野では、尿路再生医療など信州大学から世界に発信している研究がいくつもあります。
- ・ 他にも尿路結石、尿路感染症、男性不妊、腎臓内科と協力して行っている腎移植…。
- ・ 泌尿器科は実は結構メジャーな内容を多く抱えた診療科です。泌尿器科に進めばその中にやりたいことがきっと見つかるはずです。



Da Vinci 手術



尿流動態検査

専門研修の魅力

【泌尿器科専門医の将来性とメリット】

・ 泌尿器科学は尿路系における良性、悪性疾患と、男性の生殖器及びそれにかかる疾患を扱う外科学の重要な分野です。現在の高齢化社会において、中高齢の男性及び女性の排尿に関する問題は生活の質の向上という面で社会的にもかなり関心がもたれています。あわせて、尿路系の悪性腫瘍も高齢化に伴い増加傾向にあり、各病院でも症例数も増えています。

【信州大学・長野県での専門医としての意義とメリット】

- ・ 信州大学は、排尿障害の研究、臨床においては我が国のみならず世界的にも知られる総本山ですが、その他の分野でもまんべんなく泌尿器科疾患をみることができます。
- ・ 大都市では、例えば、前立腺癌はA病院、腎癌はB病院、尿路結石はC病院、など、専門分野に特化した病院が数多くあります。これは、地域に泌尿器科を有する病院がいくつもあるためで、ある手術についてはエキスパートだが、他の手術は見たこともない、という泌尿器科医も少なくありません。しかし、長野県では各地域で泌尿器科疾患の住み分けができるほど病院が多くないため、全ての泌尿器科疾患を診なければなりません。したがって泌尿器科医としてのあらゆる診療を経験することができます。このような環境で研鑽できるためか、長野県の泌尿器科医師の技術レベルは全国的にも高く評価されています。聖路加国際病院、虎ノ門病院、国立がんセンターなどの有名病院の泌尿器科医長も、信州大学、長野県で研修を積んだ先生です。
- ・ 関連病院として、県内の国公立、組合立、厚生連、赤十字病院などに医師を派遣しており、技術的にも大学病院と変わらない質の医療を行えるように、専門医になるまでの研修を大切に行っています。

専門医、大学院等	専門研修プログラム	臨床研修
初期研修に専念	初期研修 1・2年目	選択にて泌尿器科研修 【必修ではない】
日本泌尿器科学会登録 大学院入学【時期は相談】	後期研修 1年目	泌尿器科入局 大学病院勤務
学会発表、論文発表 大学院卒業、博士号取得	後期研修 2・3・4年目	関連病院 または大学病院
日本泌尿器科学会専門医試験	後期研修 5年目	関連病院 または大学病院
日本泌尿器科学会専門医	泌尿器科専門医	関連病院医長待遇 大学教員
日本泌尿器科学会指導医申請 指導医取得	泌尿器科専門医 5年目	泌尿器科指導医として 後輩、学生指導

研修期間

初期研修を行った後、泌尿器科の医局員として後期研修を行っていただきます。

泌尿器科で4年間の研修を行った時点で、泌尿器科専門医試験があり、これにパスすると、泌尿器科専門医として認定されます。専門医取得後、5年間泌尿器科専門医認定施設で臨床にあたり、規定の実績を積み重ねて、指導医の申請ができるようになります。

プログラム構成病院の概要(研修中に派遣される病院の指導体制など)

信州大学医学部附属病院をはじめ、「将来の就職先など」の欄で後述する県内外の関連病院で研鑽を積んでいただきます。

専門医取得までの4年間には、そのうち2年間を研修期間施設(大学病院)、2年間を研修連携施設(中でも、指導医が2名以上常勤していて、経験できる症例が多い関連病院)での勤務になります。

この間、希望があれば大学院に入学し、大学病院で臨床を行いながら研究を進める大学院進学コースを選択することもできます。関連病院に勤務しながら大学院で研究もしたい、という場合は、社会人大学院の制度もあります。

サブスペシャリティー・学位取得の道筋

泌尿器科学会の専門医以外にも、サブスペシャリティーとしての専門医、認定医の資格も多数あります。すべて網羅しきれませんが、現在の医局員が取得した資格の中で代表的なものとして、以下のようなものがあります。

- **泌尿器腹腔鏡技術認定医(日本泌尿器内視鏡学会、日本内視鏡外科学会)**

サブスペシャリティーの中でも、現在最も取得したい資格といわれています。

- **ロボット手術認定医(日本泌尿器内視鏡学会、日本ロボット外科手術学会)**

現在、da Vinci手術で保険適応は、前立腺全摘除術のみです。

- **腎移植認定医(日本移植学会、日本臨床腎移植学会)**

信州大学では腎移植も積極的に行ってています。

- **小児泌尿器科認定医(日本小児泌尿器科学会)**

泌尿器科の中でも小児は特殊で、一味違う難しさと面白さがあります。

- **癌治療認定医(日本癌治療学会、癌治療認定医機構)**

泌尿器科に限らず、全ての悪性腫瘍に対する知識、実績が求められます。

- **ICT(日本感染症学会、他)**

これも泌尿器科に限らずあらゆる知識が必要です。

- **超音波専門医(日本超音波医学会)**

臨床一般的なことから基礎的なことまで要求される資格です。

その他、専門医制度を敷いていない学会も多数あり、所属している学会は多岐にわたっています。

大学院での研究テーマ、臨床研究のテーマなど

信州大学の伝統的な基礎研究テーマは、排尿障害、再生医療が2本の大黒柱です。

その他にも、各分野での臨床研究を行っています。

- **排尿機能の研究**

様々な環境下での排尿に対する影響を調べています。

糖尿病、高血圧、閉経、といった全身状態、冷えストレスによる排尿の変化、各種新規薬剤の効果 など

- **再生医療**

幹細胞を使用して、下部尿路の機能再建を研究しています。

脂肪幹細胞を用いた尿道の3D再生が他大学と共同研究進行中。

膀胱の再生は、幹細胞が話題になる以前からの教室創立以来のテーマです。

- **尿路超音波**

世界でも類を見ない独創的な研究です。

基礎的なことのみならず、常に臨床への応用を考えています。

その他、現在進行形の臨床研究

- 間質性膀胱炎に対するボツリヌストキシン注入療法

- 男性腹圧性尿失禁に対する人工括約筋

- ロボット支援手術の長期成績

- 腎癌に対する分子標的薬治療

- 膀胱癌に対するBCG治療

など

国内留学・海外留学

排尿生理の基礎研究や内視鏡手術の技術習得(腹腔鏡/da Vinci手術)に、国内外の著名な施設へ留学しています。

主な留学先

Lund大学(スウェーデン)
Copenhagen大学(デンマーク)
Virginia大学(アメリカ)
Pittsburgh大学(アメリカ)
McGill大学(カナダ)
Mayo Clinic(アメリカ)
Texas A&M大学(アメリカ)
Antwerpen大学(ベルギー)
名古屋大学



将来の就職先など

【関連病院、その他医局員の就職先】

- ・長野県内: 安曇野赤十字病院、飯田市立病院、伊那中央病院、長野県立こども病院、長野県立木曽病院、小諸厚生総合病院、佐久総合病院、篠ノ井総合病院、岡谷市民病院、市立大町総合病院、諏訪赤十字病院、信州上田医療センター、長野市民病院、長野松代総合病院、丸の内病院、北信総合病院、富士見高原病院、まつもと医療センター
- ・山梨県: 山梨県立中央病院、市立甲府病院
- ・東京都: 聖路加国際病院、虎ノ門病院、国立がんセンター中央病院
- ・静岡県: 静岡県立がんセンター、聖隸浜松病院
- ・その他、関連病院に勤務後、長野県内で開業した医局員、家庭の事情で実家のある他県の病院へ移った医局員もいます。いずれの場合も、信州大学泌尿器科学教室同門会員として変わらぬ交流を保ち続けています。

最後にひとこと

- ・今年の当教室の合言葉は「Crazy change the world」です。
「世界を変えられると考えるほどクレージーな人間こそが世界を変える人間である」
仕事に使命感をもち何事にも挑戦していきます。
- ・教室の伝統をあらわす言葉として「Liberty」「Surgery」「Urodynamics」の3つがあります。
Liberty
互いに自由に意見を述べあえる、活気ある教室です。
Surgery
泌尿器科学は外科の一部門であり、基本は手術です。
Urodynamics
数ある泌尿器科学の学問分野で、最も泌尿器科医が主体となって発展させることのできる分野です。
信州大学は、他からの追随を許しません。

是非、我々と共に泌尿器科を盛り上げていきましょう。

連絡先

信州大学医学部 泌尿器科学教室

- 住所: 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 ■電話: 0263-37-2661 ■FAX: 0263-37-3082
- E-mail: urology@shinshu-u.ac.jp(医局代表)
- URL: <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/urology/>
- 専門研修プログラムの詳細は、信州大学医学部附属病院HP 卒後臨床研修センター → 専門研修 [泌尿器科]